

**滋賀県立八幡商業高校の生徒が新潟市にて行商（販売実習）をします。
— 近江商人の「三方よし」の実践 —**

滋賀県立八幡商業高等学校（校長 太田義人）の生徒24名が、新潟市中央区において、近江商人の「三方よし」を実践することを目的に、戸別訪問販売（行商）の実習を行います。この販売実習は、「近江商人再生プロジェクト」と銘打って、同校独自の学校行事として実施しており、今回で第10回目となります。生徒たちは、大型バスに商品や荷物を積み込んで6泊7日で各都市を行商します。収益金は、災害復興等社会福祉支援に寄付し、三方よしの「世間よし」を体験します。

当日は、のぼりの付いた台車を引いて、水色のハッピを着た生徒が一軒一軒訪問し商品を販売します。事前の周知や当日の取材について、ご協力をお願いします。

■近江商人再生プロジェクト 新潟市の開催概要

1. 販売日程 令和5年7月23日（日） 14:30～17:00
2. 出発地点 白山公園駐車場Dより徒歩にて出発
3. 販売エリア 白山小学校区および幸西の一部 ※別紙をご覧ください
4. 販売商品 滋賀県や近江八幡市の特産物
※丁字麩（ちょうじふ）、赤こんにゃく、近江牛カレー、湖魚佃煮、丁稚ようかん、日野菜漬け、ひこにゃんグッズ等

■昨年度の第9回近江商人再生プロジェクトの様子



— 近江商人の「三方よし」とは？ —

江戸時代から明治にかけて活躍した近江商人の経営理念。

「売り手によし、買い手によし、世間によし」と、商売において売り手と買い手が満足するのは当然のこととし、社会に貢献できてこそよい商売と言えるという考え方。

■取材に関するお問い合わせ先
滋賀県立八幡商業高等学校 教務部 田村 光宏
TEL : 0748-32-2072

新潟市商業振興課 佐藤
TEL : 025-226-1633

※当日は、3人ずつ8班に分かれて、下記A～Cのエリアで販売実習を行います。

